

令和 6 年度事業報告

(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日)

甲、庶務に関する事項

1. 総 会

(1) 第 74 回通常総会

令和 6 年 6 月 21 日に東京都内のビジョンセンター田町で開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- 第 1 号報告 令和 5 年度事業報告の件
- 第 2 号報告 公益目的支出計画実施報告の件
- 第 3 号報告 令和 6 年度事業計画の件
- 第 4 号報告 令和 6 年度収支予算の件

II 提出議案

- 第 1 号議案 令和 5 年度収支決算報告承認の件
- 第 2 号議案 令和 6 年度会費徴収方法承認の件
- 第 3 号議案 令和 6 年度役員報酬承認の件
- 第 4 号議案 任期満了に伴う役員選任の件
- 第 5 号議案 付帯決議の件

(2) 令和 6 年度臨時総会

令和 6 年 12 月 11 日に書面により開催し、次の事項を議決した。

I 提出議案

- 第 1 号議案 理事の補欠選任の件

2. 理 事 会

(1) 第 322 回理事会

令和 6 年 5 月 31 日に東京都内のビジョンセンター品川で開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 社員補欠選挙当選者の報告
- (2) 家畜改良関係会議の概況
- (3) 令和 6 年度乳用牛ゲノミック選抜の推進強化研究事業

II 協議事項

- (1) 令和 5 年度事業報告
- (2) 令和 5 年度収支決算報告
- (3) 任期満了に伴う役員候補者の推薦

- (4) 第 74 回通常総会の招集及び付議事項
- (5) 第 16 回全日本ホルスタイン共進会
- (6) 職員賃金規程の一部改正等
- (7) 今後の行事日程

(2) 第 323 回理事会

令和 6 年 6 月 21 日に東京都内のビジョンセンター田町で開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 社員補欠選挙当選者の報告
- (2) 令和 5 年度登録委員並びに支部・承認団体の表彰
- (3) 令和 5 年度審査成績並びに検定成績優秀牛群等の表彰

II 協議事項

- (1) 第 74 回通常総会付議事項

(3) 第 324 回理事会

令和 6 年 6 月 21 日に東京都内のビジョンセンター田町で開催し、次の事項を議決した。

I 協議事項

- (1) 会長、副会長、専務理事の選任
- (2) 顧問、相談役の選任

(4) 第 325 回理事会

令和 6 年 7 月 10 日に書面により開催し、次の事項を議決した。

I 協議事項

- (1) 選挙管理委員の選任
- (2) 役員退任に伴う慰労金、報酬金の支出
- (3) 今後の行事日程
- (4) 第 17 回全共企画委員会委員の推薦

(5) 第 326 回理事会

令和 6 年 11 月 22 日にオンラインで開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和 6 年度中間事業概況
- (2) 令和 6 年度中間決算報告
- (3) 令和 6 年度中間監査報告
- (4) 社員補欠選挙当選者の報告
- (5) 令和 6 年度地区別登録委員研修会並びに登録事務担当者会議の概要

- (6) 令和6年度国等補助事業の実施状況
- (7) 家畜改良関係会議の概要
- (8) 第17回全日本ホルスタイン共進会企画委員会の概要

II 協議事項

- (1) 令和6年度臨時総会付議事項
- (2) 役員報酬及び退任慰労金の支出
- (3) 任期満了に伴う社員選挙の実施
- (4) 早発性筋力低下症候群（MW）の遺伝子型調査
- (5) 第16回全日本ホルスタイン共進会関係
- (6) 第17回全日本ホルスタイン共進会企画委員の補欠選任
- (7) 職員就業規則の一部改正
- (8) 今後の行事日程

(6) 第327回理事会

令和7年3月21日に東京都内のビジョンセンター品川で開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和6年度中間事業概況
- (2) 令和6年度社員会議・冬期登録事務担当国会議の概要
- (3) 令和6年度補助事業等の実施状況
- (4) 家畜改良関係会議の概要
- (5) 第17回全日本ホルスタイン共進会企画委員会からの報告

II 協議事項

- (1) 令和7年度事業計画
- (2) 令和7年度収支予算
- (3) 役員報酬の支出
- (4) 社員選挙に係る都道府県社員定数
- (5) 令和7年度乳用牛ゲノミック選抜の推進強化研究事業
- (6) 第16回全日本ホルスタイン共進会関係
- (7) 旅費規程、職員就業規則の一部改正
- (8) 今後の行事日程

3. 監査会

令和6年4月25日に監事3名並びに事務局が北海道支局を訪問し、支局業務に係る会計監査を実施した。また、5月9日に本会会議室において公認会計士による外部監査を、5月17日に令和5年度決算監査会、10月18日に令和6年度中間監査会を開催し、会計監査並びに業務監査を行った。

4. 社員会議

本会社員に対して、当年度の事業実施状況や中間決算を報告するとともに、次年度の事業計画

骨子案等を協議するため、東西２地区において社員会議を開催した。また、「新しいNTPと2024年乳用牛改良推進実施計画」について講演を行った。

地 区	開催地	期 日	出席者
東日本	東京都内	令和７年２月１４日（金）	４６名
西日本	福岡市内	同 ２月 ７日（金）	２５名

５．社員補欠選挙

社員の辞任に伴い、令和６年６月に山形県、石川県、鹿児島県１区と２区、７月に岡山県、８月に福島県２区と愛媛県でそれぞれ社員補欠選挙を実施した。各選挙区では候補者が社員定数を超えなかったため、無投票で各候補者の当選を確定し、選挙管理委員会は社員当選者への通知と当協会ホームページで公示を行った。

６．会 員

令和７年３月末日現在の会費申込数は次のとおり。

(1)会 員

	本 局	支 局	合 計
会費申込件数	3,675 名	4,871 名	8,546 名
(前年度実績比)	(93.5%)	(96.0%)	(94.9%)

(2)賛助会員

	本 局	支 局	合 計
(団体)			
会員数（口数）	14 団体(36口)	0	14 団体(36口)
払込件数（口数）	14 団体(36口)	0	14 団体(36口)
(個人)			
会員数	25 名	0	25 名
払込件数	25 名	0	25 名

７．職 員

令和７年３月末日現在の職員数は次のとおり。

職 名	本 局				支 局				合計
	前年度 末現在	任命 委嘱	解職 解嘱	令和 7 年 3 月 末現在	前年度 末現在	任命 委嘱	解職 解嘱	令和 7 年 3 月 末現在	
事務局長									
支 局 長					1			1	1
技 師	10	1		11	19			19	30
主 事	9		1	8					8

参与・嘱託	2			2					2
事務取扱	1			1	22	1		23	24
合 計	22	1	1	22	42	1		43	65

8. 登録委員

種 別	任 命 委 嘱	解 職 解 嘱	令和7年 3月末現在	備 考
総務委員			2 名	
審査委員		1	16 名	
検定委員	147	214	1,523 名	
計	147 名	215 名	1,541 名	

9. 支局、支部の設置と承認団体

令和7年2月28日付けで宮崎県経済農業協同組合連合会が団体統合したため、3月1日付けで宮崎県農業協同組合が登録取扱団体を継承した。3月末日現在の支局、支部及び承認団体は次のとおり。

区 分		都 道 府 県
支局	1	北海道
支部	2	秋田、京都
承認団体	43	
ホルスタイン協会	(3)	宮城、静岡、奈良
酪農協連、酪農農協連	(7)	茨城、千葉、神奈川、新潟、愛媛、長崎、熊本
全農	(2)	青森、長野
農協	(4)	島根、香川、佐賀、宮崎
酪農協、酪農農協	(14)	福島、栃木、東京、石川、愛知、三重、兵庫、鳥取、岡山、広島、徳島、福岡、大分、鹿児島
畜産農協	(1)	大阪
家畜改良協会	(2)	山梨、沖縄
畜産会	(2)	埼玉、高知
畜産協会	(5)	岩手、山形、群馬、福井、岐阜
畜産振興協会	(3)	富山、滋賀、山口
合 計	46	

乙、業務に関する事項

1. 血統登録、証明申込

(1) 主な登録申込頭数・件数

令和6年度の主な申込頭数・件数は次のとおり。

1) 血統登録

種 別	本 局		支 局		合 計	
申込頭数（雌）	37,567	頭	170,779	頭	208,346	頭
〃（雄）	155	頭	225	頭	380	頭
計	37,722	頭	171,004	頭	208,726	頭
（前年度実績比）	100.6	%	103.4	%	102.9	%
予算	37,515	頭	169,500	頭	207,015	頭
（予算比）	100.6	%	100.8	%	100.8	%
登録頭数（雌）	37,516	頭	170,314	頭	207,830	頭
〃（雄）	155	頭	225	頭	380	頭
計	37,671	頭	170,539	頭	208,210	頭

2) 移動証明

種 別	本 局		支 局		合 計	
申込件数	1,918	件	1,530	件	3,448	件
（前年度実績比）	86.3	%	127.1	%	100.6	%
予算	2,100	件	1,200	件	3,300	件
（予算比）	91.3	%	127.5	%	104.5	%
証明件数	1,871	件	1,530	件	3,401	件

3) 審査成績証明

種 別	本 局		支 局		合 計	
牛群審査（雌）	6,305	頭	11,594	頭	17,899	頭
〃（戸数）	511	戸	916	戸	1,427	戸
個体審査（雌）	564	頭	357	頭	921	頭
〃（雄）	2	頭	5	頭	7	頭
計	6,871	頭	11,956	頭	18,827	頭
（前年度実績比）	92.9	%	113.9	%	105.2	%
予算	7,510	頭	11,400	頭	18,910	頭
（予算比）	91.5	%	104.9	%	99.6	%
証明頭数						
牛群審査（雌）、 体型調査	17,497	頭	30,869	頭	48,366	頭
個体審査（雌）	542	頭	357	頭	899	頭
〃（雄）	2	頭	5	頭	7	頭
計	18,041	頭	31,231	頭	49,272	頭

4) 検定成績証明

種 別	本 局		支 局		合 計	
牛群一括検定	4,537	件	69,128	件	73,665	件
〃 (戸数)	84	戸	673	戸	757	戸
個体検定	134	件	116	件	250	件
計	4,671	件	69,244	件	73,915	件
(前年度実績比)	113.5	%	98.6	%	99.4%	%
予算	3,820	件	65,190	件	69,010	件
(予算比)	122.3	%	106.2	%	107.1	%
証明件数	4,663	件	68,982	件	73,645	件

5) 再交付・更正・書換申込、E T事務取扱件数

種 別	本 局		支 局		合 計	
再交付	190	件	1,251	件	1,441	件
更正・書換	313	件	779	件	1,092	件
E T事務取扱	1,226	件	1,783	件	3,009	件

6) 血統能力証明

種 別	本 局		支 局		合 計	
証明件数	427	件	4,136	件	4,563	件

7) 遺伝子型証明

種 別	本 局		支 局		合 計	
雄牛の遺伝子型判定	191	件	234	件	425	件
E T生産牛の親子判定	1,081		1,624		2,705	
父母牛の判定	640		2,049		2,689	
卵性の判定					0	
フリーマーチンの判定	87		278		365	
遺伝的同一性の判定			78		78	
新たな検査なし報告書発行	90		224		314	
CVMの判定					0	
BLADの判定	29				29	
BLAD/CVM同時判定					0	
赤毛因子の判定	63		4		67	
単蹄の判定					0	
ブラキスパイナの判定	179		233		412	
CDの判定	180		236		416	
BLAD/CVM/単蹄の同時判定	179		232		411	
X TチップSNP検査	1,772		3,082		4,854	

胚致死性遺伝子型7種類	106	103	209
SNP 遺伝子型による親子判定	1		1
無角の判定	60	8	68
牛βカゼインの判定	223	2,234	2,457
MWの判定	108	142	250
計	4,989 件	10,761 件	15,750 件

8) 選 奨 (生涯検定牛)

種 別	本 局		支 局		合 計	
金	85	頭	1,370	頭	1,455	頭
銀	150	頭	2,389	頭	2,539	頭
銅	517	頭	8,175	頭	8,692	頭
計	752	頭	11,934	頭	12,686	頭

2. 登録、育種改良のための情報収集、調査研究及び情報提供

(1) 登録、育種改良のための情報提供

- 1) スマートフォンやパソコンで検索利用できる「近交情報システムWeb」や牛群検定成績一括証明農家向けの「登録情報活用システム(RIUS)」、体型審査受検農家への直近の牛群遺伝改良情報や近交回避情報の還元に努めた。
- 2) SNP検査を実施したすべての農家に対して、直近のゲノミック評価値を掲載した牛群内遺伝情報の送付に加えて、牛群全体の改良状況を分かりやすくグラフ化した「ゲノミック情報利活用システム(GenIUS)」による改良情報をウェブ上で提供した。
- 3) (独)家畜改良センターから毎週公表される雌牛評価速報値について、ウェブ上で検索閲覧することで雌牛ゲノミック評価情報還元の迅速化に努めた。
- 4) 令和6年4月から、ブラキスパイナ(BY)と牛コレステロール代謝異常症(CD)のSNP情報をウェブ上で提供開始した。また、8月からβカゼインA2型のSNP情報も追加して提供した。
- 5) 令和7年1月から、新たな遺伝性疾患である早発性筋力低下症候群(MW)の遺伝子型調査を開始した。
- 6) 高得点牛や牛群検定高記録、生涯検定高記録、種雄牛及び雌牛のゲノミック遺伝評価値等について、本会ホームページや機関誌等を通じて広く情報提供を行った。

(2) 調査及び研究事項

- 1) 日本中央競馬会の畜産振興事業として、昨年度に引き続き、「乳用牛ゲノミック選抜の推進強化研究事業」を実施した。本年度は5月に札幌市内で推進委員会を開催して、前年度事業の概要と成果を報告した。前年度には北海道、福島、千葉、鳥取、熊本の5道県の農業共済組合から疾病データとSNPデータを収集し、疾病7形質(第四胃変位、子宮内膜炎、乳房炎、乳熱、胎盤停滞、産褥熱、ケトーシス)の遺伝的パラメータと耐病性成分の試作、ハプロタイプによる遺伝性疾患等の保因状況の識別、疾病形質を考慮したNTPや長命連

産効果の見直し等の検討を行ったが、本年度は、前記の5道県に加えて長野と岡山の2県の農業共済組合の協力を得て、疾病データ収集を拡充するとともに、牛群検定農家においてSNP情報を有する初産から3産までの検定牛の体型審査を可能な限り実施した。

- 2) 乳用牛群検定全国協議会事業のうち、後代検定事業に必要な初産検定牛（後代検定材料娘牛、ヤングサイア娘牛及び同期牛）の体型データ収集と同協議会への提供、併せて体型調査農家への情報還元を行った。
- 3) 乳用牛群検定全国協議会事業のうち、(独)家畜改良センターが行う泌乳能力及び体型の遺伝評価に必要な血縁ファイルを作成し、同協議会に提供した。
- 4) 乳用牛群検定全国協議会事業のうち、ホルスタイン種の改良に必要な雄牛並びに雌牛選定のためのSNP検査を実施した。
- 5) (一社)家畜改良事業団から委託を受け、SNPデータによる血縁矛盾調査並びにゲノミック評価手法の開発・検証を行った。また、本年度も前年度に引き続き、SNP検査の試料採取の効率化とその普及推進のため、耳片試料採取用キットを希望の道県に配付した。
- 6) (一社)家畜改良事業団から委託を受け、「乳用種雄牛後代検定事業」に必要な候補種雄牛に係る近交回避資料と父母牛の能力調書を作成し、同事業団に提供した。

- (3) 家畜改良関係5団体（家畜改良センター、家畜改良事業団、日ホ、ジェネティクス北海道、十勝家畜人工授精所）で構成する「乳用牛改良推進協議会」において、2024年度乳用牛改良推進実施計画を決定し、各団体機関誌やホームページ、関係雑誌等で周知を行った。今年度実施計画の基本方針は、①NTP2024の制定、②疾病抵抗性や暑熱耐性への遺伝的取組み、③搾乳ロボット適合性情報の提供、④ヤングサイアの厳選と活用拡大、⑤見やすく、分かりやすく、使いやすい情報提供の改善と充実、⑥説明会やリーフレット等による理解醸成と連携強化等。また、9月に全国5ブロックで開催された乳用牛改良推進ブロック会議に事務局として出席し、2024年度実施計画等の推進並びに意見交換を行った。また、令和7年1月に運営委員会に出席して、令和7年度の事業計画等について協議を行った。

- (4) 令和6年4月17日から2日間、イタリア・クレモナで開催された世界ホルスタインフリージアン連盟(WHFF)の第15回世界体型審査委員ワークショップに、当協会から稲山審査部長（支局）と高橋審査課長（本局）が出席。理論的セッションでは各線形形質の国間相関比較と、新しい標準線形形質として「乳房の傾斜」と「前肢方向」について、WHFF評議員会に追加提案することを決定した。実践的セッションでは近郊の2つの牧場を借りて、初産牛各20頭について線形審査の目合わせを実施した。なお、9月に開催されたWHFF評議員会で前記の線形2形質を標準線形形質に追加することが承認された。

3. 登録、審査に関する研修会、講習会及び共進会の開催

(1) 地区別登録委員研修会の開催

登録業務の円滑な遂行と審査技術の向上を図るため、都府県5ブロックにおいて令和6年度地区別登録委員研修会を開催した。第1日は「新しいNTPとWebサービス」の講演と登録事務研修を、2日目は教材牛を使って、又は座学により審査技術研修を行った。

地 区	期 日	開催県	開催場所	出席者
東 北	7 月 22 日～23 日	秋田県	由利本荘市ホテルアリス、あきた総合家畜市場	24 名
関 東	8 月 2 日	日 本	ビジネセンター八重洲（登録事務担当者会議）	16 名
中部・北陸	8 月 8 日～ 9 日	静岡県	静岡県男女共同参画センター	28 名
近 畿	7 月 29 日～30 日	大阪府	国際障害者交流センター、大阪府立農芸高校	23 名
中国・四国	7 月 25 日～26 日	香川県	屋島灘温泉白山、香川県畜産試験場	30 名
九 州	8 月 5 日～ 6 日	大分県	大分コンパルホール、(株)トレジャーランド	37 名

（２）支部・承認団体登録事務担当者会議等の開催

登録事務の円滑な遂行を図るため、前項の地区別登録委員研修会の第１日目終了後に、各地区で夏期の支部・承認団体登録事務担当者会議を開催した。また、令和７年２月３日には冬期登録事務担当者会議をオンラインで開催した。

（３）支部・承認団体登録事務取扱研修会の開催

支部・承認団体の登録事務をより円滑に遂行するため、令和６年１０月３～４日に研修会をオンラインで開催し、２３府県から支部・承認団体登録事務担当者４０名が出席した。

（４）第１６回全日本ホルスタイン共進会の開催準備

令和７年１０月２５、２６日に北海道安平町で開催する第１６回全日本ホルスタイン共進会に向けて、都道府県別出品割当頭数の通知並びに衛生対策要領、各種要領の施行、中央並びに在札関係団体・会社等を訪問して協賛・酪農資材器具展・広告掲載の協力依頼を行った。

（５）第１７回全日本ホルスタイン共進会企画委員会の開催

令和６年８月２９日に、次回の第１７回全日本ホルスタイン共進会開催のための企画委員会の第１回委員会を本会会議室並びにオンラインで開催し、全共開催時期と開催場所等について協議した。また１１月に第２回と第３回委員会、令和７年２月に第４回委員会を開催し、開催候補地の具体的な検討を行った。現在、企画委員会は委員長に松島副会長（九州地区）、委員に山口副会長（北海道）、半澤理事（東北地区）、遠坂理事（関東地区）、神尾理事（中部・北陸地区）、檜尾理事（近畿・中国四国地区）の計６名で構成。

（６）内部審査研究会の開催

令和６年９月２３～２５日に北海道支局並びに札幌市の八紘学園を借りて、本支局審査委員による内部審査研究会を開催した。また、７年３月１６～１９日には岡山県畜産総合研究所を借りて内部審査研究会と、長恒牧場で高得点牛、丸山牧場でジャージー種経産牛の審査目合わせを実施した。

（７）県単の登録講習会等への職員の派遣

県単実施の登録講習会や自動登録推進等の要請を受け、職員を派遣又はオンラインで対応した。

（８）地区共進会等への審査委員の派遣

各地区の乳牛共進会等からの要請を受け、審査委員を派遣した。また、体型審査時等には県単

の審査講習会や高等学校での生徒対象に牛の見方の勉強会を実施した。

4. 機関誌の発行及び図書等の出版

(1) 機関誌の発行

令和6年7月、9月と7年1月、3月の年4回、(一社)全国酪農協会発行の全酪新報の紙面を借りて、当協会機関誌「日本ホル協特集号」を発行し、会員並びに関係者に直送した。また、全酪新報の元日号並びに毎月20日号に「ホルスタイン牛の広場」として登録や改良情報を掲載・提供した。

(2) 「登録委員だより」等の発行

登録取扱事務の連絡徹底と、乳牛改良等の現場で必要な情報を提供するため、「登録委員だより」を発行して、地区別登録委員研修会並びに支部・承認団体を通じて登録委員に配付した。また、「ホルスタイン登録の手引き」、「自動登録マニュアル」、「ホルスタインの見方」、「線形評価法」等の冊子を作成し、必要に応じて配付した。

(3) ホルスタイン手帳 2025年版を作成し、登録委員はじめ関係者に配付した。

5. そのほか本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 支部・承認団体の表彰

登録推進対策の一環として、会員拡大推進、自動登録普及推進、血統登録普及推進、審査普及推進の各表彰要領に基づき、対象となる支部・承認団体6部門計延べ41団体を表彰した。

(2) 登録委員の表彰

登録委員に対する表彰要領に基づき、登録の普及推進と正確性の向上に貢献したと認められた登録委員20府県51名を表彰した。

(3) 審査成績優秀牛群の表彰

ホルスタイン種の改良と酪農経営の安定向上に資するため、審査成績優秀牛群表彰要領に基づき、審査成績優秀牛群30戸を表彰した。

(4) 検定成績優秀牛群並びに優秀牛の表彰

ホルスタイン種の改良と酪農経営の安定向上に資するため、検定成績優秀牛群並びに優秀牛表彰要領に基づき検定成績優秀な10牛群並びに乳量・乳脂量優秀牛4部門32頭を表彰した。

(5) 支部・承認団体に対する助成

支部・承認団体に対して、登録普及に関する助成要項に基づき登録取扱委託手数料、抜取調査委託手数料、登録講習会補助金等を交付した。

(6) 地区共進会への選賞

各地区共進会やB&Wショウに対して、共進会出品優良牛選賞規程に基づき選賞を行っ

た。

(7) ジャーギー種牛の登録等事務の受託

日本ジャーギー登録協会からの委託を受けて、ジャーギー種の登録事業を行うとともに、全国ジャーギー酪農振興協議会の事務局業務を受託して行った。令和6年度の主な登録申込頭数・件数は次のとおり。

種 別	都府県		北海道		合計	
血統登録（雌）	504	頭	898	頭	1,402	頭
〃（雄）	1	頭		頭	1	頭
移動証明	8	件	10	件	18	件
審査成績証明						
牛群審査	48	頭	26	頭	74	頭
個体審査	11	頭	35	頭	46	頭
検定成績証明						
牛群一括		件	216	件	216	件
個体検定		件	11	件	11	件
再交付・更正・書換	2	件	9	件	11	件
E T事務取扱	5	件	13	件	18	件
遺伝子型調査	46	件	39	件	85	件

(8) 全国ホルスタイン改良協議会の事務受託

全国ホルスタイン改良協議会の事務局を受けて、関連事業を実施した。令和6年11月15～16日に愛知県畜産総合センターにおいて、14道県から酪農家と学生、関係団体職員等140名が参加して令和6年度ジャギングスクールを開催した。

(9) 日本ホルスタイン会館の運営

日本ホルスタイン会館の財産価値の維持とその有効活用、またテナントとの良好な関係を保ちながら会館の運営に必要な管理・整備に努めた。